

あさ よこた わる おとこ
19. 朝(横たわる男)

■ 指定日

昭和57年3月1日

■ 種別

有形文化財 絵画

■ 年代

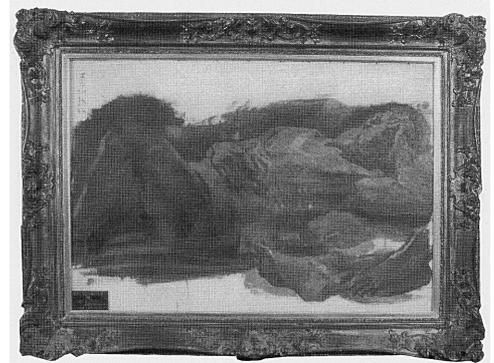
昭和時代

■ 所在地

朝来市生野町口銀谷 生野小学校

■ 所有者

朝来市



■ 内容

生野三巨匠の一人として知られる郷土出身の画家・青山熊治の作品。

・青山熊治(あおやまくまじ) 1886(明治19年)～1932(昭和7年)

生野町口銀谷出身。白瀧幾之助の紹介で洋画家・高木背水の元に住み込み絵の道に打ち込む。明治37年(1904)、東京美術学校(現東京芸大)に入学(後に病気のため退学)、「老坑夫」で東京勸業博覧会2等賞、「アイヌ」で白馬賞、「金仏」で文展2等賞(最高賞)を受賞、その後ヨーロッパに遊学し、現地で苦学しながらルノアールに師事した。帰国後「高原」で帝展特選と帝国美術院賞、昭和4年(1929)に第一美術協会を創立するなど精力的に活動したが、昭和7年(1932)帰郷時に急逝した。

渡航以前は、身近な労働者を題材とした重厚な作品を描いたが、以後はルノアール・セザンヌ・シャパンヌなどの影響を強く受け、色調の明るい大作を描いた。